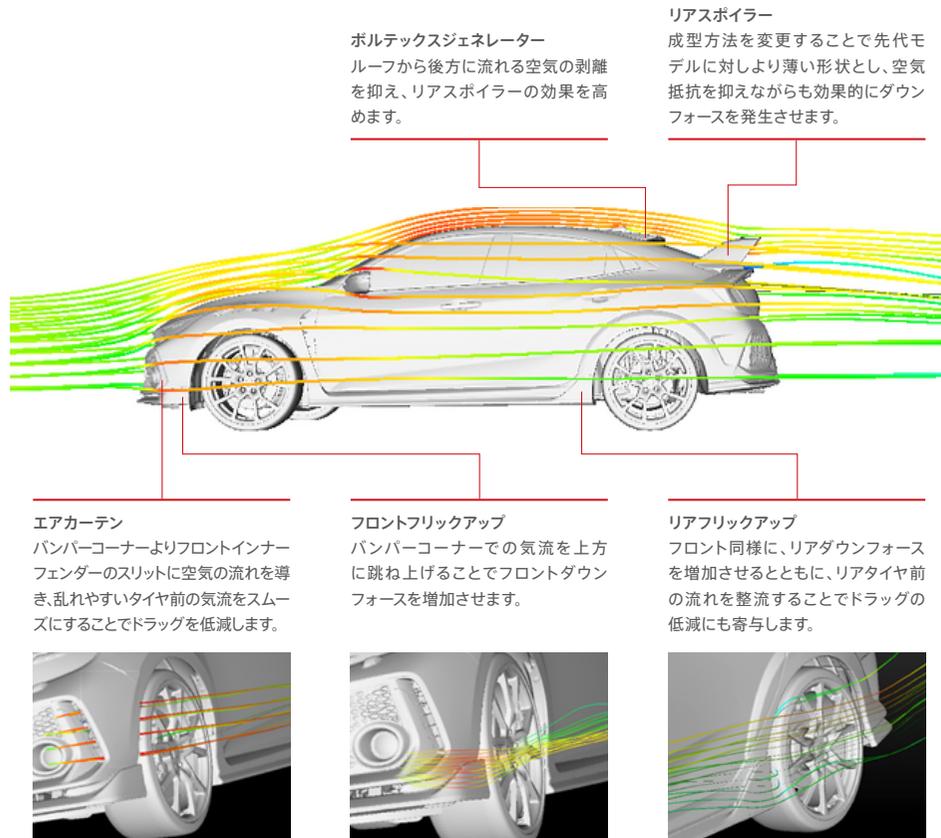


## 車両運動性能を飛躍的に高めた空力性能

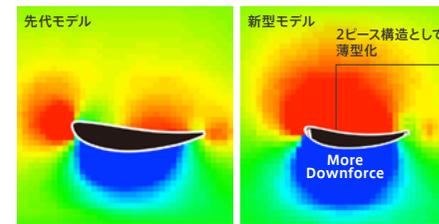
開発当初から「TYPE R」を見据えてデザインした低く、伸びやかなプロポーションとしたことで、空気抵抗を低減した上で、高速安定性や旋回時の限界性能向上を目指してダウンフォースを強化。マイナスリフトと空気抵抗の低減を高次元にバランスさせました。

また、ダウンフォース発生や整流に効果を発揮する各種空力デバイスは、スタイリングと一体化させた洗練されたデザインとしました。

### 空力デバイス説明図



### リアスポイラー効果説明図



先代モデル(左図)に対し、上下のパーツを構造接着剤で結合することで薄型化した新型モデル(右図)ではウイングの上面と下面の圧力差を大きくすることで、より強大なダウンフォースを発生させます。

### リフト/ドラッグ関係図



先代モデルに対し、リフトを低減させてダウンフォースの発生量を増加させつつ、ドラッグを低減。

## ロー&ワイドを実現するハイパワーユニットの熱マネジメント技術

ハイパワーユニットを積むエンジンルーム内の熱環境を、アルミボンネット上に設定したインテークダクトからの走行風によりマネジメントすることで、走行性能を高めるロー&ワイドのプロポーションと両立させています。

### エンジンルーム内エアフロー説明図

